

個別施策管理シート 対象事業年度 平成 24 年度

個別施策14

政策	3 夢のふくらむ港	施策推進 責任者	関連事業担当部長 港営部長
基本施策	04 うるおいと魅力のある港湾空間の形成		
個別施策	14 スポーツ・レクリエーションの場を充実する		

1. PLAN(目的・内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	県市民、地域住民
	サービスの対象物(何を)	臨港緑地(運動施設等を含む)、新舞子ポートパーク
	意図(どういう状態にしたいのか)	効率的かつ効果的に管理運営され、多くの人々に利用される
内容	名古屋港内では、地域の人々にスポーツ・レクリエーションの場を提供するため緑地を整備し、運動施設を設置しています。これらの施設について、指定管理者等により効率的かつ効果的な管理運営を行い、多くの人々に利用されるようにしていきます。	
目標	運動施設等が多くの人々に利用されるようにします。	目標達成に影響する外的要因等

成果指標	実績等	年度						目標 H24	指標の説明(式)
		H20	H21	H22	H23	H24			
運動施設・緑地等利用者数	実績	千人	490	502	477	481	496	490	運動広場、海づり公園、新舞子マリンパーク、ゴルフ場、野球場、テニスコート、サイクリングロード等
	達成率	%	100.0	102.4	97.3	98.2	101.2		
新舞子ポートパーク利用率	実績	%	100	100	100	100	100	100	
	達成率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

2. DO(個別施策を構成する各事務事業の取組内容と今後の方向性)

重点化	担当課名	事務事業名(コード)	事務事業の概要	主な活動・成果指標	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値 (年度)	平成24年度実施事業に基づく評価結果					
					実績	実績	実績見込み		平成24年度 末までの 状況 ※1	平成25年度以降の取組の方向性 事務事業 ※2	成果 ※3	コスト ※4	備考(判断の理由・目標年次の変更等)	
					上段: 指標達成状況									下段: 事業費(千円・人件費込)
	(港営部) プレジャーポート対策担当	新舞子ポートパークの管理運営(個14事01)	指定管理者による利用料金制度で運営しており、適正な管理運営を確保するため、モニタリング等を実施し、必要に応じて指導・助言を行います。	ポートパーク利用率(%)	100	100	100	100 (継続)	順調	継続	➡	➡	指定管理者により良好に運営されているため。	
	(港営部) 関連事業担当	運動施設・緑地等の管理運営(個14事02)	定例的な連絡調整会議やモニタリングにより、指定管理者への指導・助言を行い、施設の良好な維持管理と高質な利用者サービスを提供します。	利用者数(千人)	477	481	496	490 (継続)	順調	継続	➡	↗	本施設は3つの指定管理者により良好に運営されているため。なお、南浜緑地(海づり公園)が平成25年1月に閉鎖されたことに伴う代替暫定施設を25年度に整備します。	
				施策コスト(事業費合計)	195,748	202,517	211,116							

注) 事業費は総事業費から本組合負担分を抽出して計上しています。
注) 目標値欄の「(継続)」は完了年度を定めず行う事業です。この場合の目標値及び目標年度は、原則として24年度の間目標として設定しています。

4. ACTION(個別施策全体の今後の取組の方向性)

平成25年度以降の取組の方向性			平成25年度取組の方向性の判断の理由(本組合財政収支への影響の考察を含む※5)		
区分	成果※3	コスト※4	<ul style="list-style-type: none"> 施設の一部分閉鎖により、一時的に若干の利用減が予想されますが、代替暫定施設を整備することで補完していきます。 		
拡大維持 縮小	➡	↗			
今後の展開方向(新規事業の創出、事務事業の見直し等)			<ul style="list-style-type: none"> 良好な施設管理を進める中で、指定管理者の自主的な活動による施設利用の向上が図られるよう、本組合も協力していきます。なお、閉鎖された海づり公園の代替暫定施設を整備します。また、本年度で指定管理期間が満了となるため、次期の指定の手続き事務を本年度中に行います。 ポートパークにおいて第Ⅱ期施設の供用開始するとともに、引き続き良好な管理に努めていきます。 次期政策体系(26年度～)において、本施策及び事務事業構成の見直しの検討を行っていきます。 		
PLAN					
DO CHECK					

3. CHECK(個別施策全体における取組状況と課題)

前年度の評価結果を踏まえて取り組んだ内容と現状における課題認識	
<ul style="list-style-type: none"> 施設を管理運営する指定管理者に対し、良好な施設運営が実施されるようモニタリングし、適正な管理を行いました。問題があれば協議し、是正に努めています。(指定管理者制度により良好に施設の管理運営がなされており、これを維持・継続していくことから重点化の位置づけはしません。) なお、高潮防波堤(知多提)改良工事により閉鎖された海づり公園の代替暫定施設を整備する必要があるため、事業費の拡大が想定されます。この閉鎖により、施設利用者数は、暫定施設供用開始までの間、減少することが予想されます。 政策体系として評価を行うことが適さない日常業務については、次期政策体系の策定において見直しが必要です。 	
構成事務事業の適正性(構成される事務事業で個別施策の目標を達成できているかどうか。できていない場合は改善策を記入)	
<ul style="list-style-type: none"> 事務事業構成は概ね妥当と思われます。 	